



18

# 赤塚第二中学校

所在地 〒175-0094  
板橋区成増三丁目18番1号  
電話 03(3939)0247  
FAX 03(5998)4996

HPアドレス <http://www.ita.ed.jp/edu/aka2jh/>  
校長名 木村 知広



## 学校概要

本校は、平成25年4月から新校舎となり、板橋区では初めての「教科センター方式の学校」としてスタートしました。

「教科センター方式の学校」とは、音楽室や理科室などの従来の特別教室だけでなく、国語や社会などすべての教科専用の学習教室があり、子どもたちは時間割に合わせて教室を移動し、専門の教室環境の中で学習するという学校です。子どもたちは自ら行動して、望ましい環境で授業を受けるため、学習する習慣が身に付くとともに、基礎学力やそれらを活用する能力などが養われるというメリットがあります。

本校は、板橋区教育委員会から「主体的に学習に取り組む基盤研究推進校」の指定を受け、協働的・探究的な学習及び体験的な活動等の充実を図りながら確かな学力の定着に向けた一体的な指導を通して、生徒の主体的な学びを重視した学習活動を展開しています。

また、今まで築き上げてきた、子どもたちの落ち着いた生活態度や「集団美」にさらに磨きをかけ、常に自分たちの学校生活に課題意識をもたせ、自分たちの力で解決し、前向きに改善を図っていくために、さまざまな体験的な活動の充実に力を入れています。

## 教育目標

教育基本法の精神をふまえ、東京都教育委員会及び板橋区教育委員会の教育目標にのっとり、次の目標を定めています。

- 1「立志」：自ら志を立て、自ら考え判断し行動することのできる生徒を育てる。
- 2「鍛錬」：心身ともに健康で、努力を惜しまず、切磋琢磨し合う生徒を育てる。
- 3「協調」：規範意識を身に付け、他を思いやりながら協力し合う生徒を育てる。



## 沿革

- |        |       |                                 |
|--------|-------|---------------------------------|
| 昭和24年  | 9月10日 | 現在地に新校舎落成、移転                    |
| 35年    | 5月24日 | 体育館竣工                           |
| 37年    | 8月31日 | 鉄筋校舎8教室落成                       |
| 45年    | 2月4日  | 都知事表彰「首都美化運動に貢献した学校」            |
| 50年    | 2月8日  | 現校舎の全容が完成                       |
| 53年    | 6月28日 | プール新改装                          |
| 平成4年   | 1月31日 | パソコン室完成                         |
| 8年12月  | 2日    | 地域開放教室設置                        |
| 9年9月   | 1日    | ランチルーム設置                        |
| 18年7月  | 25日   | 防球ネット設置                         |
| 22年4月  | 1日    | 校舎改築着工                          |
| 23年4月  | 1日    | 指導力向上特別研究指定校(～平成25年度)           |
| 25年4月  | 1日    | 新校舎(教科センター方式)使用開始               |
| 25年10月 | 1日    | 新校舎の全容が完成                       |
| 26年4月  | 1日    | 指導力向上研究推進校・ICT授業研究実証実験校         |
| 29年11月 | 4日    | 70周年記念式典                        |
| 30年11月 | 9日    | JAET学校情報先進校表彰                   |
| 31年4月  | 1日    | 板橋区ICT推進校取得                     |
| 令和2年   | 2月12日 | 東京都教育委員会表彰<br>健康づくり優秀学校(学校給食分野) |

## 学習意欲を高め、確かな学力を育成する授業

赤塚第二中学校では、恵まれた環境を生かし、生徒の学習意欲の向上を進めています。教科教室を移動する際に必ず通る各教科の「学びのひろば」には、教科リーダーの生徒たちが工夫を凝らした各教科の作品が掲示してあります。生徒たちは移動や休み時間に掲示物に触れながら、次の授業について興味・関心を高めています。授業の導入では目標を示し、見通しをもった授業ができる工夫を行っています。一人一台端末をはじめ各種ICT機器を積極的に活用し、生徒がよりよくわかる授業を、すべての教科で行っています。

また、「赤二型学力」という独自の学力モデルも策定しています。生徒がこれからの社会を生き抜くために必要な力を4個にまとめたもので、授業内で教員が意識し、生徒たちに身に付けさせていくものです。生徒たちが、これからの社会でよりよく活躍するための力を、3年間を通して育成しています。

## 先輩の背中を見て、成長する学校

赤塚第二中学校では、毎時間の移動の時間に必ず他学年の先輩たちとすれ違います。また、国語や社会等の5教科の授業は、教室も先輩たちのクラスの隣で授業を受けます。全校朝礼では、最上級生が一番前の位置で、後輩たちに話の聞き方を示しています。委員会、部活動、教科リーダー会でも、他学年の生徒と交流をもつことが非常に多く、新入生たちもすぐに親しい先輩を作ることができました。昨年度の生徒たちは先輩たちの様子をよく見て、多くの生徒たちが「自分もああいう先輩になりたい」と理想のモデルをもっています。赤二中の伝統である「安心・安全」「集団美」を先輩たちが背中で見せることで、後輩たちはその背中を見て成長している学校です。

